

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2011-522774(P2011-522774A)  
 【公表日】平成23年8月4日(2011.8.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-031  
 【出願番号】特願2010-543192(P2010-543192)  
 【国際特許分類】

C 0 7 D 233/58 (2006.01)  
 C 0 7 D 233/64 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/4174 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 27/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 27/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/18 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/34 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 7/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/22 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/24 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/16 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 233/58 C S P  
 C 0 7 D 233/64 1 0 1  
 A 6 1 K 31/4174  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 A 6 1 P 27/06  
 A 6 1 P 27/02  
 A 6 1 P 25/02  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 25/04  
 A 6 1 P 25/06  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 25/18  
 A 6 1 P 25/34  
 A 6 1 P 3/04  
 A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 7/12  
 A 6 1 P 11/02  
 A 6 1 P 25/08  
 A 6 1 P 25/22  
 A 6 1 P 25/24  
 A 6 1 P 37/06  
 A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 25/16

## 【手続補正書】

【提出日】平成24年1月13日(2012.1.13)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

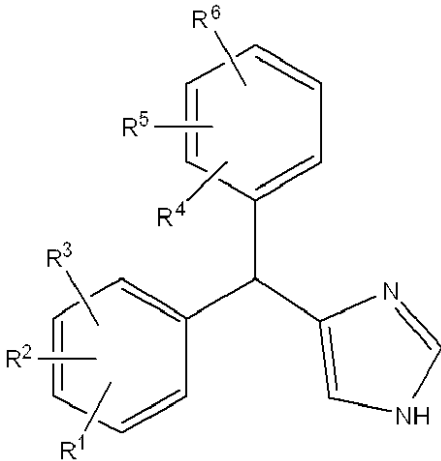
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記の式1を有する化合物：

【化1】



式1

(式中、R<sup>1</sup>~R<sup>6</sup>は、個々に、H、C<sub>1-6</sub>アルキル、ハロゲン、CH<sub>2</sub>OH、CH<sub>2</sub>N(R<sup>7</sup>)<sub>2</sub>、CH<sub>2</sub>CN、C(O)R<sup>8</sup>、CF<sub>3</sub>、およびアリールからなる群から選ばれ；R<sup>7</sup>は、HまたはC<sub>1-6</sub>アルキルであり；R<sup>8</sup>は、H、C<sub>1-6</sub>アルキルまたはアリールである)。

【請求項2】

C<sub>1-6</sub>アルキルが、メチルである、請求項1記載の化合物。

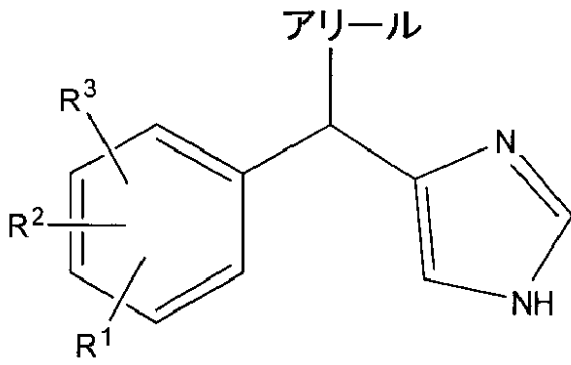
【請求項3】

ハロゲンが、F、ClまたはBrである、請求項1記載の化合物。

【請求項4】

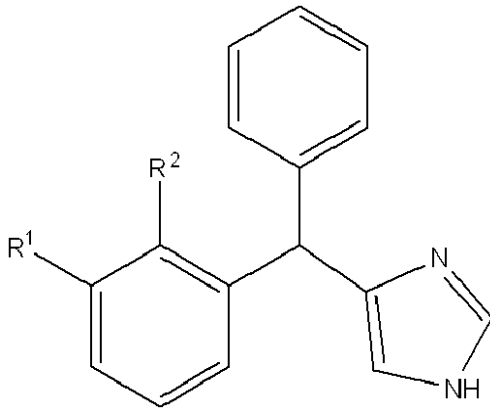
下記の式2および式3からなる群から選ばれる式を有する請求項1記載の化合物：

【化 2】



式 2

【化 3】



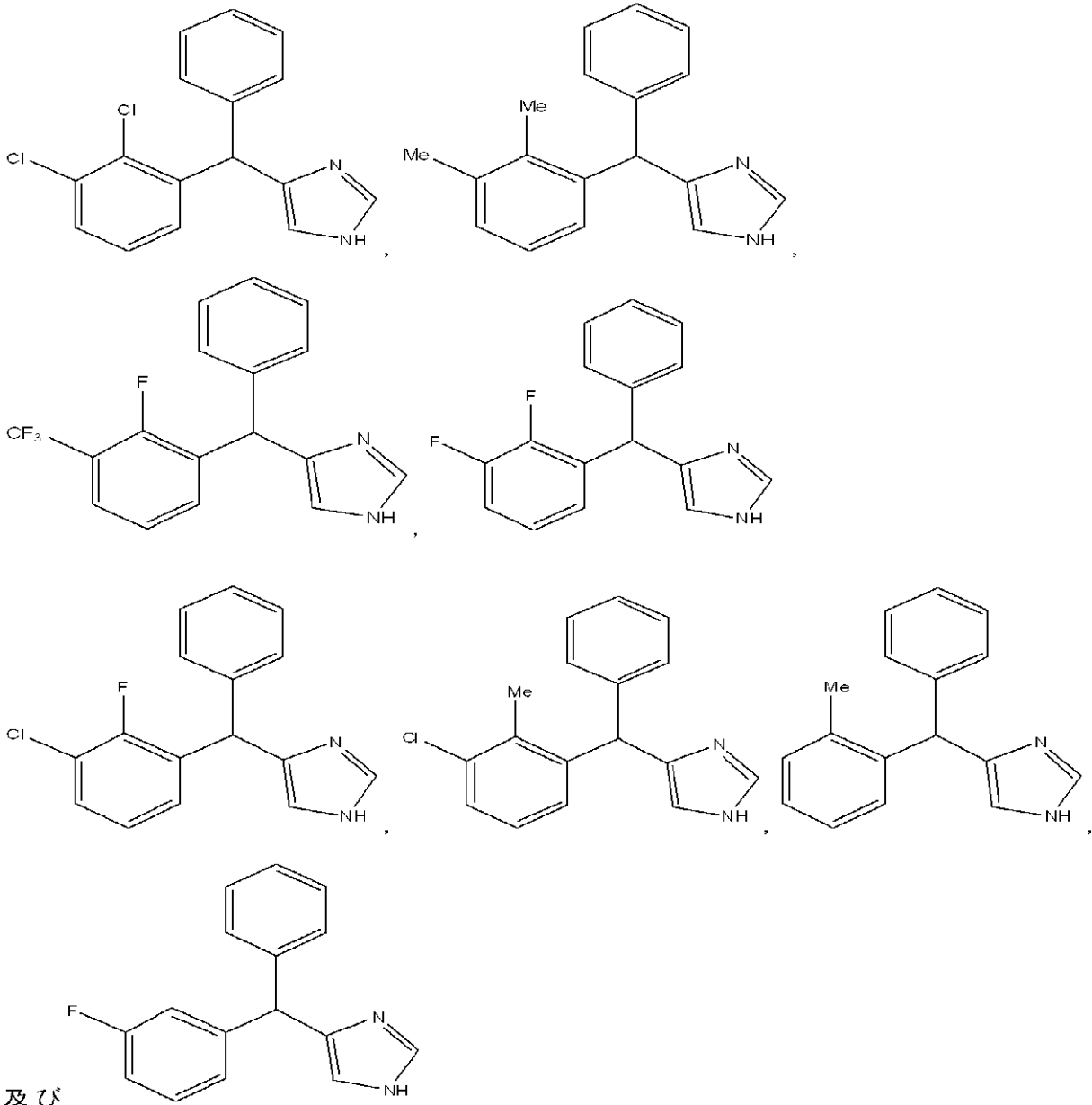
式 3

(式中、 $R^1 \sim R^3$ は、個々に、H、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロゲン、 $CH_2OH$ 、 $CH_2N(R^7)_2$ 、 $CH_2CN$ および $CF_3$ からなる群から選ばれ； $R^7$ は、Hまたは $C_{1-6}$ アルキルである)。

【請求項 5】

下記からなる群から選ばれる、請求項 1 記載の化合物：

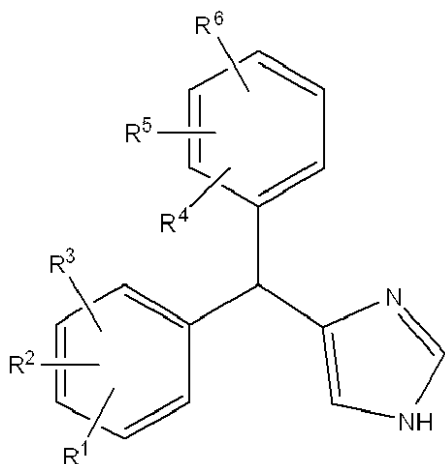
## 【化 4】



## 【請求項 6】

下記の式 1 を有する化合物および製薬上許容し得る担体を含む製薬組成物：

## 【化 5】



## 式 1

(式中、 $R^1 \sim R^6$ は、個々に、H、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロゲン、 $CH_2OH$ 、 $CH_2N(R^7)_2$ 、 $CH_2CN$ 、 $C(O)R^8$ 、 $CF_3$ 、およびアリールからなる群から選ばれ； $R^7$ は、Hまたは $C_{1-6}$ アルキルであり； $R^8$ は、H、 $C_{1-6}$ アルキルまたはアリールである)。

## 【請求項 7】

$C_{1-6}$ アルキルが、メチルである、請求項 6 記載の製薬組成物。

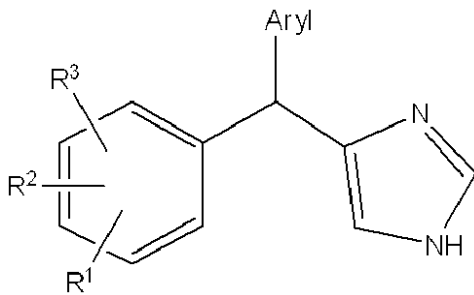
## 【請求項 8】

ハロゲンが、F、ClまたはBrである、請求項 7 記載の製薬組成物。

## 【請求項 9】

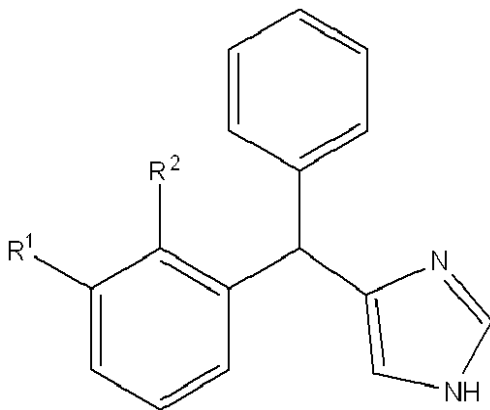
前記化合物が、下記の式 2 および式 3 からなる群から選ばれる式を有する、請求項 7 記載の製薬組成物：

## 【化 6】



## 式 2

## 【化 7】



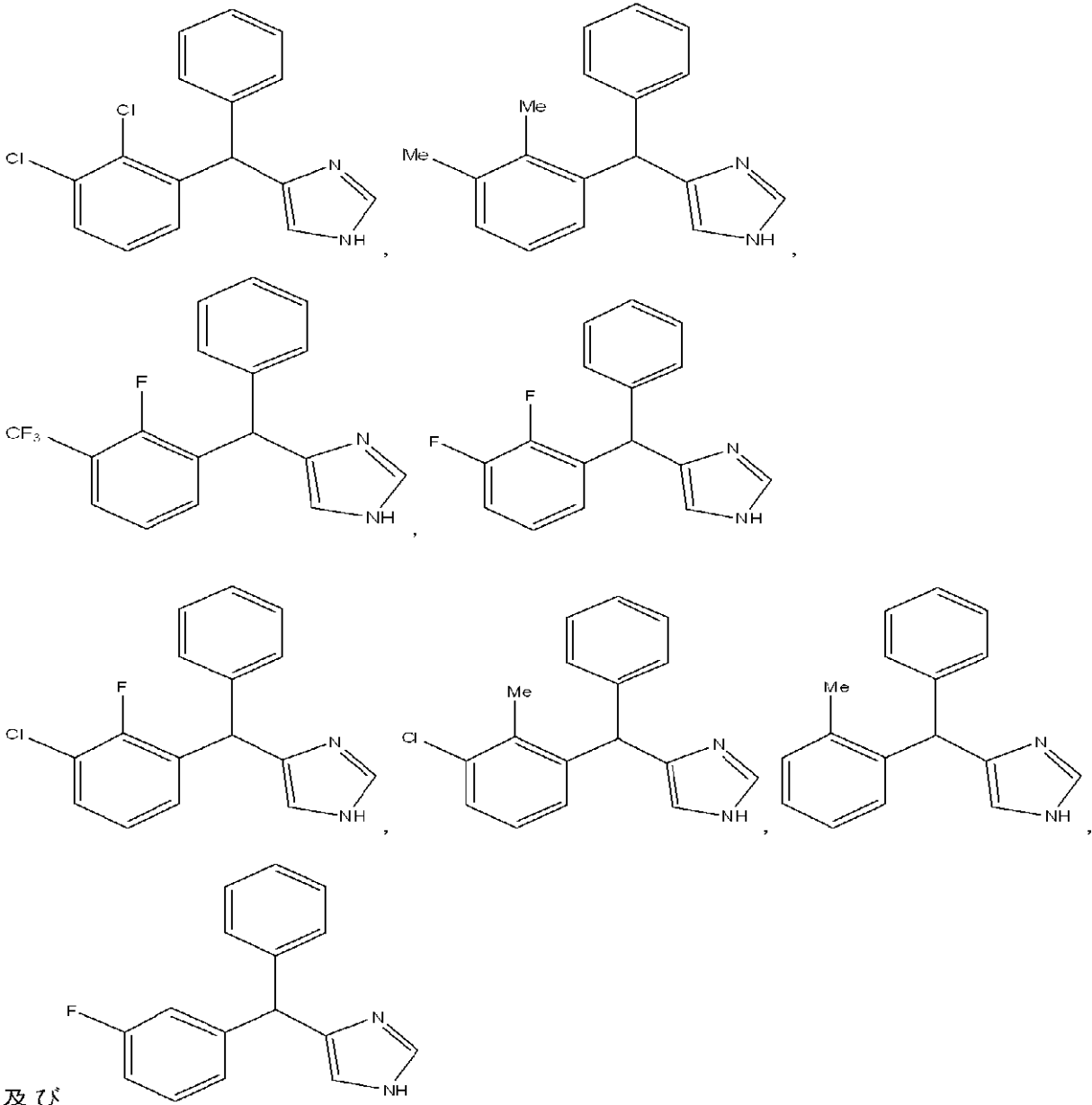
## 式 3

(式中、 $R^1 \sim R^3$ は、個々に、H、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロゲン、 $CH_2OH$ 、 $CH_2N(R^7)_2$ 、 $CH_2CN$ および $CF_3$ からなる群から選ばれ； $R^7$ は、H又は $C_{1-6}$ アルキルである)。

## 【請求項 10】

前記化合物が、下記からなる群から選ばれる、請求項 7 9 記載の製薬組成物：

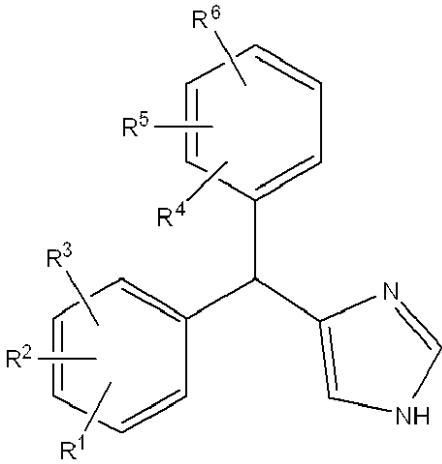
## 【化 8】



## 【請求項 1 1】

アルファ2Bレセプター介在疾患または症状の治療のための医薬品の製造のための下記の式 1 を有する化合物の使用：

## 【化 9】



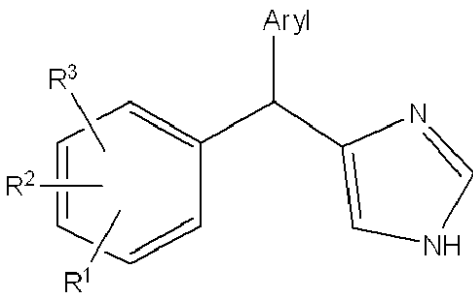
## 式 1

(式中、 $R^1 \sim R^6$ は、個々に、H、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロゲン、 $CH_2OH$ 、 $CH_2N(R^7)_2$ 、 $CH_2CN$ 、 $C(O)R^8$ 、 $CF_3$ 、およびアリールからなる群から選ばれ； $R^7$ は、Hまたは $C_{1-6}$ アルキルであり； $R^8$ は、H、 $C_{1-6}$ アルキルまたはアリールである)。

## 【請求項 1 2】

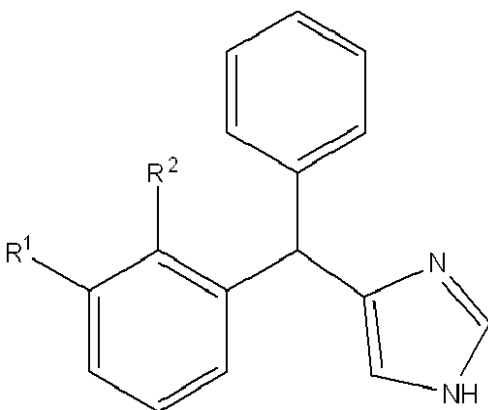
前記化合物が、下記の式 2 および式 3 からなる群から選ばれる式を有する請求項 1 1 記載の使用：

## 【化 1 0】



## 式 2

## 【化 1 1】



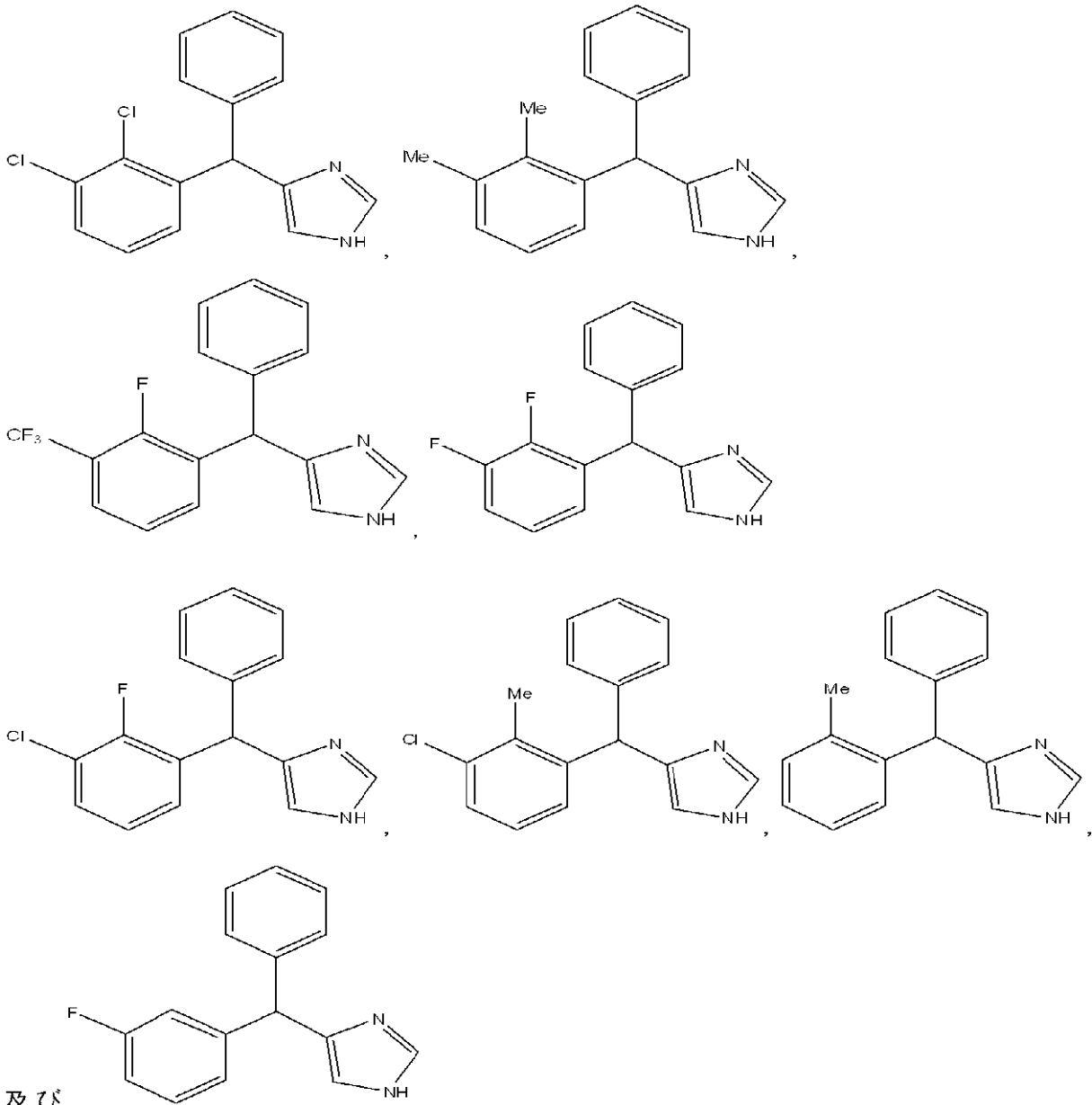
## 式 3

(式中、 $R^1 \sim R^3$ は、個々に、H、 $C_{1-6}$ アルキル、ハロゲン、 $CH_2OH$ 、 $CH_2N(R^7)_2$ 、 $CH_2CN$ および $CF_3$ からなる群から選ばれ； $R^7$ は、Hまたは $C_{1-6}$ アルキルである)。

## 【請求項 1 3】

前記化合物が、下記からなる群から選ばれる式を有する、請求項 1 1 記載の使用：

## 【化 1 2】



## 【請求項 1 4】

前記疾患または症状が、緑内障、高眼圧、虚血性神経障害、視神経症、疼痛、内臓痛、角膜痛、頭痛、片頭痛、癌性疼痛、背痛、過敏性腸症候群痛、筋肉痛および糖尿病性神経障害に関連する疼痛、糖尿病性網膜症の治療、他の網膜変性症状、卒中、認知障害、神経精神症状、薬物依存および中毒症、禁断症状、強迫障害、肥満症、インスリン耐性、ストレス関連症状、下痢、利尿、鼻詰まり、痙攣、注意力欠陥障害、精神病、不安神経症、抑うつ症、自己免疫疾患、クローン病、胃炎、アルツハイマー病性およびパキンソン病性ALSからなる群から選ばれる、請求項 1 1 記載の使用。